

○プロジェクト研究1451-2

研究課題 「アクティブラーニングを促進する IPE (interprofessional education)プログラムの開発」

○研究代表者	学長	工藤典雄
○研究分担者	看護学科教授	加納尚美
(10名)	看護学科教授	吉良淳子
	看護学科准教授	富田美加
	理学療法学科准教授	滝澤恵美
	作業療法学科教授	齋藤さわ子
	放射線技術科学科准教授	對間博之
	医科学センター教授	武島玲子
	医科学センター教授	馬場 健
	人間科学センター嘱託助手	庄司俊之

○研究年度 平成27年度
(研究期間) 平成26年度～平成28年度(3年間)

1. 研究目的

わが国では、平成24年8月に出された「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」に続き、平成25年8月に「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について(審議まとめ)」が相次いで出されるなど、アクティブラーニング(能動的学修)への迅速な対応が、高等教育機関における喫緊の課題となっている。一方、本学では平成25年度から導入した第4次カリキュラムにおいて、専門職連携に関する科目群であるIPEコースを重要な柱として位置付けている。その効果的な教育の遂行にあたっては、アクティブラーニングが可能な環境の充実に加え、きめ細やかなプログラムによるFD活動が不可欠である。そこで、本研究では、国内外の先行事例を援用しつつ、アクティブラーニングを促進するIPEプログラムについて、茨城県立医療大学独自の方法論を探究し、効果的な手法として確立することを目的とする。

2. 研究方法

1) IPEによる教育効果の促進及び成果評価に関する研究

IPE科目の受講学生や教職員に対する質問紙調査を実施し、IPEによる教育効果を評価するとともに、IPEの成果指標やIPEコンピテンシーを検討する。

2) アクティブラーニングを促進するIPEのためのFDプログラムの開発

IPEコース担当者のための研修プログラムの開発と実施及び評価を行う。

3. 研究結果及び考察

1) 各科目の運営及び学修効果

① チームワーク入門実習

学修効果を明らかにするために、学生が記載したポートフォリオに関する質的分析を行った。さらに、受講後に質問紙調査を実施した。

②保健医療とチームワーク演習

2年目を迎え、筑波大学との合同授業も含め順調に実施することができた。受講前後の2年生及び卒業直前の4年生に質問紙調査を実施した。

③国際多職協働実習

前年度の経験をふまえ、ロサンゼルスでの実習を実施した。

④チーム医療演習

IPW(interprofessional work)に向けたIPEの統合を図るべく、平成28年度開講のための準備を行っている。

2) アクティブラーニングを促進するためのFDプログラムの実施及び体系化

教員に対するFDプログラムとしては、FD企画運営部会との連携によりIPEに特化した年間計画を実施した。さらに、3年目を迎えた「チームワーク入門実習」では、今年度もファシリテーション・サポーターを担う学生に対する研修会を実施した。また本学では、初年次から「自校教育」を導入している点がユニークであり、FDプログラムへの反映に向けた資料整備に着手した。これらFD活動の実施結果から、アクティブラーニングを促進するためのFDプログラムとして体系化するために、引き続き普遍的要素を整理する必要がある。

3) IPEコンピテンシーの策定

大学教員及び病院職員、4年生を対象に実施した質問紙調査から得られた結果から、「学生が卒業時にもつべき多職種連携の能力と適正」を検討し、IPEコンピテンシーの策定に向けて検証する予定である。

4. 成果の発表

<論文発表>

1) 庄司俊之, 加納尚美, 富田美加, 吉良淳子, 滝澤恵美, 齋藤さわ子, 對間博之, 馬場健, 武島玲子. 成長の自己物語としての実習記録—ナラティブの視角から実習記録を読む. 茨城県立医療大学紀要 2016;21: (印刷中)

2) 前野貴美, 高屋敷明由美, 鈴木英雄, 稲田晴彦, 前野哲博, 吉本尚, 堤円香, 内藤隆宏, 速水恵子, 富田美加, 加納尚美, 馬場健. Team-based learningを用いた専門職連携教育の教育効果. 医学教育, 46 (Suppl.), 2015;141

3) 富田美加, 馬場健, 前野貴美. 大学合同のTBLによる多職種連携教育の実践 (特集 自己解決力を高める Team-Based Learning). 看護展望, 2016;41(3);273-279

4) 富田美加, 馬場健, 加納尚美, 吉良淳子, 滝澤恵美, 齋藤さわ子, 對間博之, 庄司俊之, 武島玲子. 保健医療学部におけるTBL(Team-based Learning)を用いたIPE(Interprofessional education)の実践. 第22回大学教育研究フォーラム論文集 2016(印刷中)

<学会発表>

1) 前野貴美, 高屋敷明由美, 鈴木英雄, 稲田晴彦, 前野哲博, 吉本尚, 堤円香, 内藤隆宏, 速水恵子, 富田美加, 加納尚美, 馬場健. Team-based learningを用いた専門職連携教育の教育効果. 第47回日本医学教育学会大会(新潟)2015年7月

2) 富田美加, 馬場健, 加納尚美, 吉良淳子, 滝澤恵美, 齋藤さわ子, 對間博之, 庄司俊之, 武島玲子. 保健医療学部におけるTBL(Team-based Learning)を用いたIPE(Interprofessional education)の実践. 第22回大学教育研究フォーラム(京都)2016年3月

3) Naomi Kano, Hiroyuki Tsushima, Sawako Saito, Takeshi Baba, Toshiyuki Shoji, Megumi Takizawa, Reiko Takeshima, Mika Tomita, Junko Kira. Development of student competence scale for interprofessional collaborative practice at the time of graduation. The 8th International Conference on Interprofessional Practice and Education(Oxford)2016年9月(投稿中)

4) Takeshi Baba, Mika Tomita, Hiroyuki Tsushima. KAMI-SEVEN (seven sheets of paper) presentation for effective reflection of IPE class. The 8th International Conference on Interprofessional Practice and Education(Oxford)2016年9月(投稿中)

5) Mika Tomita, Takeshi Baba, Junko Kira. Effect of Interprofessional Education using Team-based Learning on Awareness of Nursing Students towards Teamwork in Healthcare. The 8th International Conference on Interprofessional Practice and Education(Oxford)2016年9月(投稿中)